

# いちやいばネットワーク通信

\* 今回は日本の著名な起業者の名言を特集します。経営のヒントになれば幸いです。\*



## 井植 歳男 (三洋電機創業者)

「松下幸之助さんは小学校四年で仕事の道に入れられた。シャープの創業者の早川徳次さんは小学校を卒業して仕事の道に入れられた。私はなんと高等小学校まで出てしまった。それで仕事を覚えるのが遅すぎた。」

## 出光 佐三 (出光興産創業者)

「人生は実行であり現実である。百の名論卓説より、一の凡策である。」

## 稲盛 和夫 (京セラ創業者)

「成功するにはどうするか？これは極めて簡単なんです。自分の仕事の創意工夫をすること、今日よりは明日、明日よりはあさってというように、三百六十五日続けていくことです。」

## 斎藤 一人 (銀座まるかん創業者)

「世間で言うような魅力だけを魅力あるものとするから、あなたからあなたの魅力が失われていくのです。」

## 塚本 幸一 (ワコール創業者)

「この世に難関などない。難関というのはあくまでも本人の主観の問題なのである。難関だと思っている自分があるだけである。」



## 堤 康次郎 (西部グループ創業者)

「すべて成功するには、失敗の原因を外に求めず、己に求めることが大切である。」



## 本田 宗一郎 (本田技研工業創業者)

「企業で一番こわいのは社長の無知です。人は年齢と言いますが、問題は持っている知恵が古くなることです。そうすると、過去がどんなにえらかった経営者でも、会社を潰すことになります。」

## 松下 幸之助 (松下電器創業者)

「悩んでも悩まない、そういうように感じる事ができれば、人生は決して心配することはない。」

## 松本 望 (パイオニア創業者)

「社員の中には知恵がある人間がたくさんいる。そういう人達から自由さ、創造の喜びを奪ってはいけない。無鉄砲なくらいのチャレンジをさせなくては、企業の若さは保てない。」



## 矢野 恒太 (第一生命創業者)

「およそ人間の地位や名誉、財産ほどくだらないものはない。わしは無一文で生まれてきたのだから、無一文で死ぬのが理想だ。」